

2023

跳ねる心、天まで届け

「ねえ、サンタさんから何をもらうか、もう決めた？」

「そんなことより、来年はボクらが干支なんだよ～！」

いろいろ期待されてると思うし、心の準備をしておかないと」

「期待って？ もしかして、あの格言のこと？」

「そうそう。辰巳天井、午尻下がり、未は辛抱、申酉騒ぐ、戌笑い、亥固まる、子は繁栄、丑つまずき、寅千里を走り、卯跳ねるってね」

「コロナ禍で大変な時期が続いたけれど、世の中も落ち着きつつあるから、ワタシたちが弾みをつけたいところね」

「うん。みんなの心を弾ませることが、ボクらの役目さ」

「だったら、なおさら自分の心を弾ませないと！

まずはクリスマスに何がほしいか考えて、

ついでにお年玉の使いみちも考えないとね～♪」



2022年	12月	1	2	<u>3</u>	<u>4</u>	5	6	7	8	9	<u>10</u>	<u>11</u>	12	13	14	15	16	<u>17</u>	<u>18</u>	19	20	21	22	23	<u>24</u>	<u>25</u>	26	27	28	29	30	<u>31</u>
2023年	1月	<u>1</u>	<u>2</u>	3	4	5	6	<u>7</u>	<u>8</u>	<u>9</u>	10	11	12	13	<u>14</u>	<u>15</u>	16	17	18	19	20	<u>21</u>	<u>22</u>	23	24	25	26	27	<u>28</u>	<u>29</u>	30	31


 ひるたしより

干支の発祥は古代中国にあり、朝鮮半島を経由して日本へ。シルクロードを経由して東欧へも伝わったとされています。

興味深いのは、国によって異なる動物があてられているという事です。例えば、来年の「卯」もチベットやタイ、ベトナムでは「猫」とされています。また、十二支最後の「亥」も、日本以外では「豚」とされているそうです。

こうした雑学がどこで役立つか定かではありませんが「えんせく鳶目兔耳」を心がけていれば、いつか役立つときがくるでしょう。鳶目兔耳とは、とび鳶のように遠くのものまで見分けられる目と、小さな音を聞き分けられる兔のような耳という意味から「情報を集める能力の高い人」を表す四字熟語です。

デルターでは、一人ひとりが鳶目兔耳となり、情報のデザインでみなさんに安心と喜びを提供できるよう、来年も邁進してまいります。

それでは、メリークリスマス&ハッピーニューイヤー☆
次回は2月にお届けします。
どうぞ健やかに、お過ごしください。



情報のデザインで安心とよろこびを

 デルター株式会社

<https://www.deltar.co.jp/>

〒444-0863 愛知県岡崎市東明大寺町9-10

TEL : 0564-65-1088 FAX : 0564-65-7060 E-mail : info@deltar.co.jp